



桑名市教育委員会イメージ
キャラクター「くわっぼ」

かわら版

NO. 12

多度地区小中一貫校

子どもたちにとって良い学校に！



第1回多度地区小中一貫校地域協議会 6月27日（土）に開催

コロナ禍で、予定より1か月ほど遅れましたが、感染防止対策を講じた上で無事開催することができました。市長の挨拶の後、初顔合わせということもあり、委員の皆様の自己紹介から始めさせていただきました。皆様からは『子どもたちのために良い学校にしていきたいと思います』と力強い言葉をいただきました。その後、本事業の進捗状況や児童生徒数等の現状、今年度検討していく内容やスケジュール等を確認いたしました。



＜市長挨拶＞

その中で、昨年度作成した基本構想（案）をベースに基本計画を作っていくこと、令和7年度の児童生徒数を共通認識としたうえで、必要となってくる学校



施設の基本的なコンセプト等を考えていくことなどを確認いたしました。また、様々な支援を必要とする児童生徒も通いやすい学校にできるとよいといった小中一貫校への期待感がうかがえるご意見もいただきました。

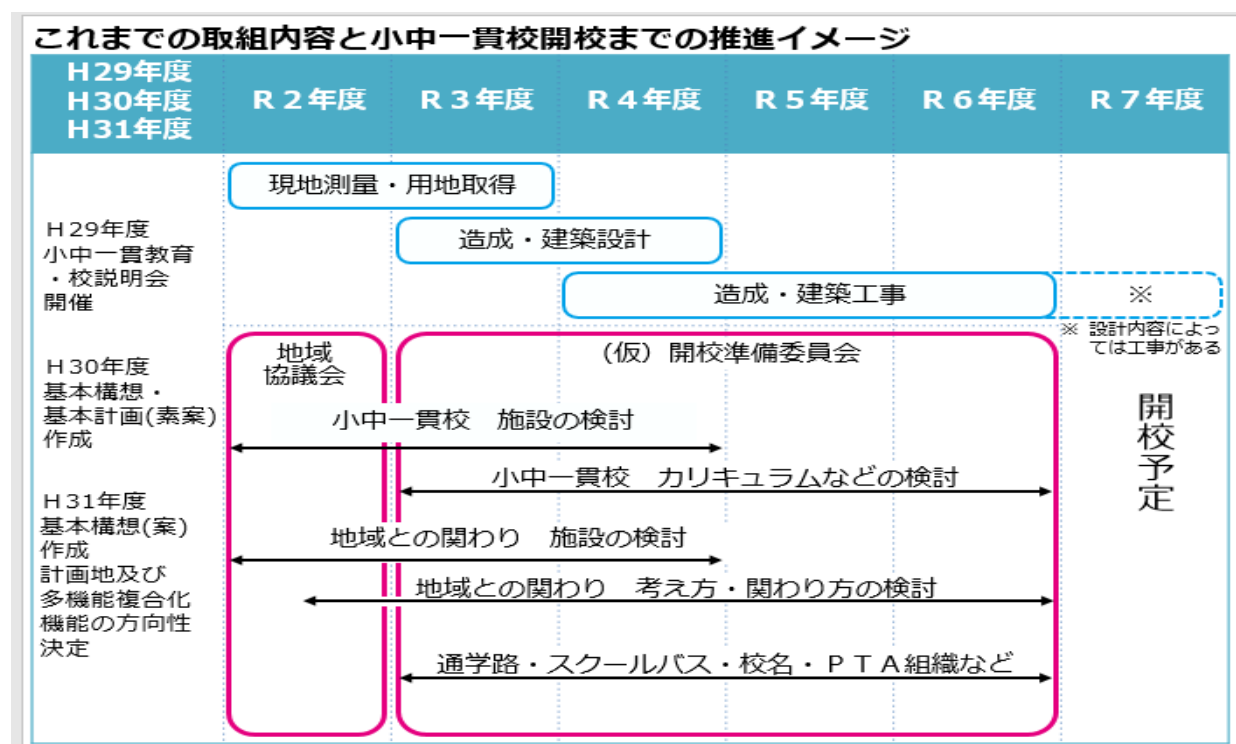
なお、協議会の概要につきましては、桑名市ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



地域協議会での報告内容

1 開校までのスケジュール（予定）

（地域協議会資料より）



2 今年度の検討予定

地域協議会において、来年度以降の設計につなげる基本計画の作成に向けて協議を重ねていくために、教職員で組織する「学校施設検討会」では、教職員へのアンケートをもとに、教育ニーズに適した諸室・施設について話し合ってください。具体的な指導場面や教育効果を想定して必要な施設のあり方について協議を重ねていきます。

また、民生委員・保護者・教職員で組織する「環境検討会」では、地域や保護者の皆様が学校と協力する事で教育効果が期待できる内容や、地域と子どもの交流スペース等についての検討、子どもたちの安心・安全を見守る体制作り等について話し合ってください。

学校施設検討会・環境検討会で話し合われた内容は、会の代表者により地域協議会にご報告いただき共有していきます。様々な意見を基に協議を行った上で今年度末には基本計画をまとめていきます。

なお、10月には、地域の保護者の皆様を対象に、小中一貫教育についての講演会を予定しております。（講師 広島県呉市立蒲刈中学校 前校長 二宮肇美氏）

＜委員長の総括＞



名古屋市立大学大学院教授
＜鈴木賢一氏＞

多度地区の小中一貫校が令和7年4月開校に向けて大きく動き出しました。そんな中、多度地区小中一貫校地域協議会委員長にご指名いただき、大きなプロジェクトの責務の重大さを改めて受け止めました。既に行政内部での検討あるいは地域の皆さんを交えたワークショップなどを通じて、桑名市の将来に向けた新しい学校の基本構想が作り上げられてきました。多岐にわたる委員の皆さんのご発言から、これまで培われた知恵と熱意を強く感じました。モデル校の具体化に向けて押し寄せる課題を関係者の皆さんとともに乗り切っていきたいものです。

6月28日（日）6月30日（火）

現地調査に関する説明会を開催しました。



多度地区小中一貫校計画地にあたる多度中小学校南西部の調査範囲の地権者の皆様を対象に、説明会を開催しました。

現地調査は、計画地に高低差があるため測量を行うなど、小中一貫校を建設するにあたりどのくらいの用地が必要なのかを決定する前段階の調査です。当日は、調査内容の説明に加えて、民地への立ち入りに関するお願いもさせていただきました。

なお、測量業者は、桑名市発行の身分証明書を持参しておりますので、他業者との区別がつきます。地域の皆様にもご理解賜りますようお願いいたします。



『学校建築から広がる学びの風景—みんなで創る多度の未来—』

第2回多度地区小中一貫校地域協議会 7月11日（土）に講演会を開催



学校建築の先進事例について、参加者で共有し、従来の学校施設の姿にとられない新たな学校のあり方を考えるため、地域協議会委員長の鈴木賢一教授に『学校建築から広がる学びの風景—みんなで創る多度の未来—』と題して講演をしていただきました。地域協議会委員に加え、学校施設検討会委員・環境検討会委員の皆様方にも参加いただきました。

具体的な教育のニーズを受けて出来上がっている諸室の画像を見ながら、かつて自分たちが育ってきた時代の学校とは一味違った現代の学校施設に、驚きと感動を覚えつつ、それらの施設で子どもたちがどう過ごしているのかを想像いただける講演となりました。また、地域学校共働本部という保護者と学校と地域の組織のあり方や、女性目線で職場のあり様を見直すことも重要だというお話もいただきました。

最後に、参加委員の皆様にご感想等を記入していただき、第2回地域協議会を閉じました。

裏面に感想の一部を掲載させていただきました。

詳しくは、桑名市ホームページをご覧ください。



桑名市ホームページ: www.city.kuwana.lg.jp → 市政 → 教育委員会 → 小中学校

講演会参加委員の感想より（一部抜粋）

<今の学校と比べて新しく気づいたこと>

- ・今までの形にこだわらず、子ども・教員・地域みんなが気持ちよく使える例を教えていただいて、分かりやすく楽しい話でした。
- ・今までの当たり前がそうではない新しいスタンダードが必要。そのためには「知る」ことが必要だと思いました。
- ・1つの空間を1つの使い方に固定するのではなく、多目的に使うということがこれからのキーワードだと思った。ゼロエネルギーを目指す学校もこれからの時代に必要だと思った。
- ・今後、表現する力、コミュニケーション能力を高めるためにも、人と接する場「学校」を根本的に新たな視点で見直していきたいと感じた。
- ・ソフトとハードの一体の大切さを改めて感じました。教師目線、特に女性目線での建築が重要であると感じました。
- ・工夫次第で様々なスペースが生まれてくるのだなぁと思った。
- ・地域との連携の視点がこれほど強くすすめられていることを初めて知りました。



<疑問に感じたこと・分かりにくかったこと>

- ・新しいスタイルの学校で勤務している先生や子どもの声を具体的に知りたいと思いました。（いいところ、困っているところ）
- ・小学校を統合して新しい形にすることの素晴らしさはよくわかったが、小中一貫にする面の良さは実感できなかった。地域との交流についてはいいと思います。
- ・予算（建築費用）はどうだろうか・・・

<子どもたちのために、多度地区小中一貫校に期待すること>

- ・「子どもたちのために」このワードが大切で、今日の講演によって何が子どもたちのためになるのか学びました。
- ・子どもたちが誇りに思う学校（ソフト面もハード面も）づくりをめざして欲しい。
- ・子どもの教育環境が優先的に検討されることを希望します。
- ・ひとりひとりの個性を活かした教育。
- ・自然災害に強い、いざという時には地域の拠点となれる施設をお願いしたいです。
- ・多度の自然が活かせる面白い学校。エネルギーや環境への配慮。
- ・通学路の安全性の確保を期待します。

<その他・感想など>

- ・閉鎖的より開放的！子どもたちのことはもちろん一番ですが、先生方の働く環境が改善されると心の余裕が出て、よりよい学校環境になると思います。開放的な木造建築が望ましい（せっかく多度町に作るのであれば！！）
- ・先生にも心地よいスペースを。
- ・基本的な新設学校のイメージ図などを早く作れるとよいと思います。